

令和6年7月16日

関係機関長および関係各位

京都大学自然科学域防災学系長
(防災研究所長)

堀 智晴

教員の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とした組織であり、平成22年度より、自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、京都大学では、教員は教員組織としての学系に所属し、部局は教育研究組織と位置づけられています。

敬具

記

1. **職 種：** 准教授
2. **募集人員：** 1名
3. **所 属：** 京都大学自然科学域防災学系
4. **勤務場所：** 京都大学防災研究所
総合防災研究グループ 巨大災害研究センター 巨大災害過程研究領域
(所在地：宇治市五ヶ庄)
大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等
5. **職務内容：**
実践的な総合減災学の確立に向けた研究を、理論科学だけでなく実践科学の視点から強
力に推進する。地域防災、防災教育、災害情報などに関して、社会科学を基盤として、自
然科学と融合した研究を実施でき、かつ、災害に対する脆弱性が大きな地域に関する減災
研究を国内で主導し、国際的にも展開できる人材を求める。教育面では、京都大学情報学
研究科社会情報学コースの協力講座構成員として、同コースの教育を担当する。
6. **資 格 等：** 博士の学位を有すること。
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えること。
7. **採用予定日：** 選考後、可能な限り早い時期

8. **任 期：** なし
9. **試用期間：** あり（6ヶ月）
10. **勤務形態：** 専門業務型裁量労働制（1日7時間45分相当、週38時間45分相当）
休日：土・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始、創立記念日
・専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日 8:30～17:15 勤務（休憩 12:00～13:00）
・超過勤務を命じる場合あり
11. **給与・手当等：** 本学支給基準に基づき支給
12. **社会保険：** 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、及び労災保険に加入
13. **応募方法：**
次の(1)～(6)各一式の書類を封入の上封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書き、書類提出先へ書留扱いにて郵送、または持参してください。電子メールやインターネットを通じた申請は受理いたしません。
- (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに区分けしたもの）
 - (3) 主要論文別刷（コピー可）5編
 - (4) 研究業績の概要（A4用紙2ページ以内）
 - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4用紙2ページ以内（説明図の利用可）。これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
 - (6) 推薦書（または、応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先）
14. **書類提出先：**
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
巨大災害研究センター 巨大災害過程研究領域 准教授候補者選考調査委員会 宛
（書留便による郵送または事務室での直接提出に限る。電子メールやインターネットを通じた提出は不可。）
15. **応募締切：** 令和6年9月17日（火）17時【必着】
16. **選考方法：** 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
17. **問い合わせ先：**
巨大災害研究センター 巨大災害過程研究領域 准教授候補者選考調査委員会 宛
e-mail: apply_staff'at' dpri.kyoto-u.ac.jp （‘at’を@に置き換えてください）
（電子メールに限ります）
18. **そ の 他：**
(1) 応募書類に含まれる個人情報は、選考および採用以外の目的には使用しません。
なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。
- (2) 京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女

の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。

(3) 研究業績の評価に関しては、出産・育児・介護等で研究活動を休止した期間（ブランク期間）の影響を考慮します。ブランク期間がある場合は、研究業績一覧の最後に記載してください。

(4) 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。

(5) 10. および11. の詳細は下記 web ページ「国立大学法人京都大学就業規則一覧」をご覧ください。<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/organization/kisoku/kichiran.html>

巨大災害研究センターの概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

巨大災害研究センターは、巨大災害による被害の軽減に関する研究を、自然科学と社会科学を融合した視点から進めています。これは、近年の巨大災害が、自然のハザードに起因する直接被害のみならず、人生や生活の破壊、地域文化に対する打撃、経済被害など、間接被害をも甚大化させている点、すなわち、巨大災害が人間社会を破壊する点を踏まえたものです。

こうした視点にたって設置された巨大災害研究センターは、巨大災害過程研究領域、災害情報システム研究領域、災害リスクマネジメント研究領域、国際情報ネットワーク研究領域（外国人客員）、歴史災害史料解析研究領域（客員）、地域災害研究領域（客員）、アートイノベーション研究領域、以上7つの研究領域を有し、総合的、学際的、かつ長期的な視点に立った防災・減災研究を推進しています。

巨大災害過程研究領域

本研究領域の研究テーマは、「総合減災システムの確立と実践的防災学の構築」です。安全・安心な社会を実現するために、巨大災害による被害を軽減するための研究を、社会科学・自然科学を融合して行っています。特に、社会科学（社会心理学を中心として）の立場から、災害情報、防災教育、災害文化のあり方を提案し、真に「実践的な」防災学とは何かを探っています。

災害情報システム研究領域

本研究領域の研究テーマは、「先進的な情報技術を用いた想定外にも対応できる防災・災害対応の実現」です。時空間情報を効率的に処理できる地理情報システムを核とし、総合防災・減災システムを確立するための基礎研究を行うとともに、行政・民間企業・地域防災を担うコミュニティ・災害支援ボランティア組織などを対象に、災害対応を想定した情報システムとその評価手法を開発することを目指しています。空間情報処理を核とし、情報収集・分析へのAI、IoT、ビッグデータ解析などの先進的な情報技術やロボット技術の適用、災害対応過程で必要となる情報のモデル化、システム運用のための知識体系やアーキテクチャ構築について研究を推進しています。

災害リスクマネジメント研究領域

本研究領域は、巨大災害がもたらす被害の軽減を理工学と社会科学が協同して取り組むべき研究課題としてとらえ、そのための研究をリスクマネジメントの観点から行っています。また、この研究課題を、都市や地域、国土などの総合的なリスクマネジメントの一環と位置づけ、学際融合的かつ国際的な研究領域として発展させることを目的として多角的な研究を推進しています。

このほかに、下記の2つの客員部門、1つの外国人客員部門、1つの産学共同研究部門があり、上記の3研究領域でカバーできない研究領域を有機的に補完する活動を担っています。

歴史災害史料解析研究領域（客員）

地域災害研究領域（客員）

国際情報ネットワーク研究領域（外国人客員）

産学共同研究部門 アートイノベーション（凸版印刷）研究領域

2. 現在の教員構成

令和6年6月1日現在の教員構成は以下のとおりです。

巨大災害過程研究領域：	教 授	矢守 克也
	准教授	（今回公募）
	助 教	（選考準備中）
	助教（次世代）	中野 元太
災害情報システム研究領域：	教 授	畑山 満則
	准教授	廣井 慧
災害リスクマネジメント研究領域：	教 授	Ana Maria CRUZ NARANJO
	准教授	松田 曜子
国際情報ネットワーク研究領域：	（外国人客員教授）	（選考準備中）
歴史災害史料研究分野：	（客員教授）	近藤 誠司
	（客員准教授）	竹内 裕希子
地域災害研究領域：	（客員教授）	姥浦 道生
	（客員准教授）	諏訪 博彦
産学共同研究部門	特定教授	土佐 尚子
アートイノベーション	特定助教	Pang YUNIAN
（凸版印刷）研究領域：		

共同利用・共同研究拠点について

防災研究所は、大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用し、共同研究を行う全国共同利用研究所として、共同利用や共同研究を推進してきました。平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

なお、京都大学防災研究所の詳細は下記のホームページをご参照下さい。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

Associate Professor Position in the Research Section of Integrated Disaster Reduction Systems, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

July 16th, 2024

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for a permanent Associate Professor position.

Location: Research Center for Disaster Reduction Systems, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan **(at home or other places if University allows or orders to work remotely)**.

Job description and required qualifications:

The appointed associate professor will promote research with a strong focus on integrated disaster reduction systems from the perspective of practical implementation as well as theoretical science. The candidate is expected to lead interdisciplinary research on community disaster management, disaster education, and disaster information, by integrating social science with natural science. The candidate is also expected to lead research on disaster risk reduction in Japan and to expand international research cooperation in regions with high vulnerability. In addition, the candidate will have responsibility for education in the Social Informatics Course, Graduate School of Informatics, Kyoto University. The candidate must hold a Ph.D. or equivalent degree and be able to use Japanese on a daily basis.

Anticipated start date: As soon as possible after the selection.

Probation period: 6 months

Working time: Discretionary labor system (standard working hours: 7 hours 45 minutes per day, 38 hours 45 minutes per week) If the discretionary labor system is not chosen the working hours are from 8:30 to 17:15 with a break between 12:00 to 13:00. Overtime may be ordered. Days off: Saturdays, Sundays, Statutory holidays under the Act on National Holidays, Year-end and New Year's holidays, and Anniversary of Foundation of the University.

Salary and Allowance: To be determined in accordance with Kyoto University regulations.

Social insurance: (1) National Public Service Mutual Aid Associations, (2) Employee's pension insurance, (3) Unemployment insurance, and (4) Worker's accident insurance

Applicants should prepare the following materials:

(1) Curriculum vitae

- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to two A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letter(s) or names and contact information of two references (include addresses, fax numbers, and e-mail addresses)

The complete application package must arrive by the deadline of 17:00 JST, September 17th, 2024 at the following address:

Selection Committee for Integrated Disaster Reduction Systems Associate Professor
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

Applicants must send the package by registered mail or direct submission. Applicants are not allowed to submit it by e-mail or through internet.

For inquiries, you can send e-mail to apply_staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp (replace 'at' with @)
For more information about DPRI, see <https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/en/>.

Additional notes

- (1) The university will not return your application documents.
Personal information contained in the application documents will be used solely for the purpose of screening applicants and never for any other purposes.
- (2) Kyoto University is building a culturally diverse faculty and strongly encourages applications regardless of gender or disability.
The university is an Equal Opportunity, Affirmative Action Employer.
- (3) With regard to the evaluation of research achievements, the impact of periods of interruption in research activities due to childbirth, childcare, nursing care, etc. (blank periods) will be taken into consideration. If there are blank periods, please indicate them at the end of the list of publications.
- (4) The university prohibits smoking in all campus buildings except in designated outside smoking areas for the purpose of preventing the adverse health effects of second-hand smoke.